

様式第十五（第四十八条第一項、第五十一条第一項及び第五十二条関係）

形質変更時要届出区域内における土地の形質の変更届出書

年 月 日

北九州市長 北橋 健治 様

〇〇市〇〇区〇〇町△丁目▽ー▽

届出者 〇〇〇〇株式会社 印

代表取締役 △△ 〇〇

土壤汚染対策法第12条（第1項、第2項、第3項）の規定により、形質変更時要届出区域内における土地の形質の変更について、次のとおり届け出ます。

形質変更時要届出区域の所在地	北九州市〇〇区△△町▽丁目〇ー〇（地番） （住居表示：北九州市〇〇区▽町▽丁目〇ー〇）	
土地の形質の変更の種類	〇〇工事に伴う掘削及び盛土	
土地の形質の変更の場所	別紙1のとおり	①基準不適合土壌の飛散・流出防止対策を講ずること ②土壌溶出量基準超過土壌が区域の帯水層に触れないようにすること ③土地の形質の変更後、人の健康に係る被害が生じないようにすること
土地の形質の変更の施行方法	別紙2のとおり	
土地の形質の変更の着手予定日又は着手日	平成〇〇年△月□日（予定） 注意点：届出日より14日以降を記入する	
土地の形質の変更の完了予定日又は完了日	平成〇〇年▽月△日（予定）	
土地の形質の変更の施行中に地下水汚染の拡大が確認された場合における対応方法	別紙3のとおり	
事故、災害その他の緊急事態が発生した場合における対応方法	別紙4のとおり	
最大形質変更深さより1メートルを超える深さの位置について試料採取等の対象としなかった土壌について土地の形質の変更をしようとする場合	土壤汚染状況調査に準じた方法による調査の結果 分析を行った計量法第107条の登録を受けた者の氏名又は名称	別紙5のとおり 株式会社〇〇
自然由来等形質変更時要届出区域から搬出された自然由来等土壌を使用する場合にあっては、当該自然由来等形質変更時要届出区域の所在地		

備考 1. この用紙の土きさは、日本工業規格A4とする。

添付書類

- ①土地の形質の変更をしようとする場所を明らかにした形質変更時要届出区域の図面
- ②土地の形質の変更をしようとする形質変更時要届出区域の状況を明らかにした図面
- ③土地の形質の変更の施行方法を明らかにした平面図、立面図及び断面図
- ④土地の形質の変更の終了後における当該土地の利用の方法を明らかにした図面
- ⑤土壤汚染状況調査において最大形質変更深さより一メートルを超える深さの位置について試料採取等の対象としなかった場合であって、当該深さの位置の土壌について土地の形質の変更をしようとするときは、規則第三条から第十五条までに定める方法に準じた方法により、当該土壌の特定有害物質による汚染状態を明らかにした図面
- ⑥工事の工程表

法